

報告書骨子(案)

I 審議事項

衛星通信システム委員会は、情報通信審議会通信技術分科会諮問第2032号「2GHz帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件」(平成25年1月18日諮問)について審議を行った。

II 委員会及び作業班の構成

委員会及び審議の効率化を図るために委員会の下に設置された作業部会の構成は別表のとおりである。

III 審議経過

本報告は、2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件について、委員会●回及び作業班●回の審議を行い、その結果についてとりまとめたものである。審議の経過は以下のとおりである。

(1)委員会

ア 第19回委員会(平成25年3月29日)

検討再開にあたり、委員会の運営方針、及び運営方法並びに審議事項及び審議の進め方、移動体衛星通信システムの現状と技術動向について審議した。審議の促進を図るため、作業班を設置することとした。

イ 第20回委員会(平成25年4月16日)

移動衛星通信システムの技術動向及び衛星測位システムの現状並びに技術動向について審議した。

ウ 第21回委員会(平成25年5月28日)

平成25年4月6日から同年4月26日までの期間において、「2GHz帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件」に関する提案募集を行った結果、2GHz帯については6者、L帯については2者から提案書の提出があり、意見陳述がなされた。

エ 第22回委員会(平成25年6月25日)

2GHz帯を用いた移動衛星通信システムの検討に関し、東日本大震災における通信の被災・輻輳状況、衛星・地上共用通信システム並びに2GHz帯のシステム提案者よりの提案内容について審議した。

オ 第23回委員会(平成25年●月●日)

(2)作業班

ア 第1回作業班(平成25年4月22日)

作業班での検討の進め方、作業班運営方針、作業班の検討体制及び今後のスケジュール

について審議を行った。

イ 第2回作業班(平成 25 年 6 月 14 日)

移動衛星通信システム等の提案内容聴取結果について審議した。また、S 帯と L 帯について個別に詳細検討を実施するため、アドホックグループを設置した

ウ 第3回作業班(平成 25 年 10 月 22 日)

各アドホックグループから検討状況報告を受け、報告書骨子について審議した。

エ 第4回作業班(平成 25 年●月●日)

:

(3)アドホックグループでの検討

これまで、以下のアドホックグループを開催した。

- ・S帯アドホックグループ 計3回
- ・L帯アドホックグループ 計2回

IV 審議結果

別紙のとおり

報告書 目次（案）

第1章 移動衛星通信システム等の概要

1. 1 移動衛星通信システム等の技術動向(世界的な動向)
1. 2 我が国における移動衛星通信システム等の利用動向
1. 3 東日本大震災を受けた新たな衛星通信ニーズ
1. 4 利用可能な周波数

第2章 移動衛星通信システム等に求められるサービス

2. 1 移動衛星通信システム等の利用者ニーズ
2. 2 移動衛星通信システム等に求められるサービス

第3章 L帯を用いた衛星測位システムの実現可能性(共用条件)

3. 1 L帯を用いた衛星測位システムの技術概要
3. 2 L帯を用いた衛星測位システムの実現可能性(共用条件)

第4章 S帯を用いた移動衛星通信システムの実現可能性

4. 1 S帯における移動衛星通信システム等の技術概要
4. 2 S帯を用いた移動衛星通信システムの検討
 4. 2. 1 システム検討の概要(とりまとめ表)
 4. 2. 2 システム例検討結果の詳細(ガードバンド検討等)
 4. 2. 3 周波数割当て(国際調整)の手続き及び国際調整状況
4. 3 S帯を用いた移動衛星通信システムの要求条件